


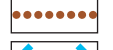



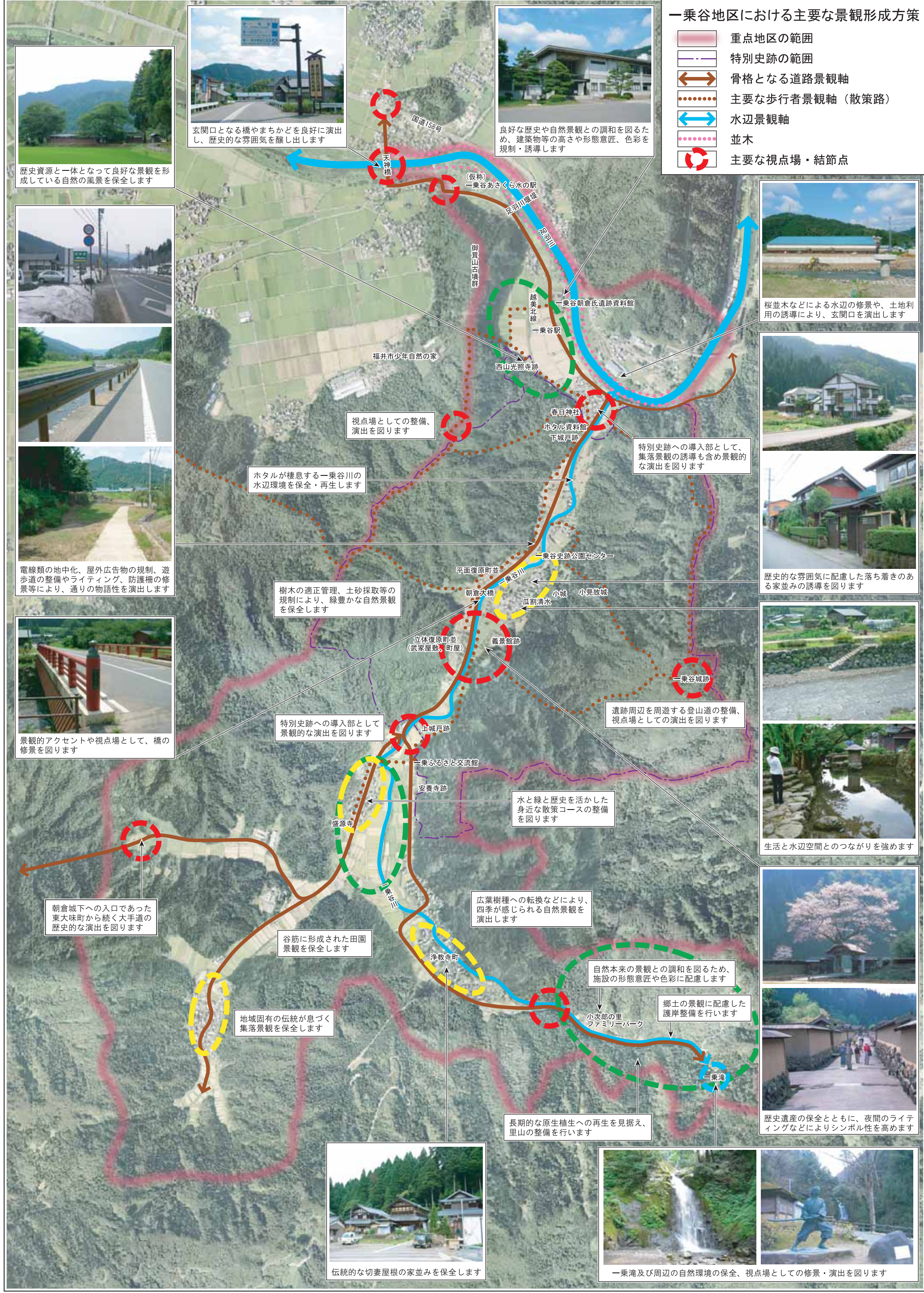


一乗谷地区における主要な景観形成方策

-  重点地区の範囲
-  特別史跡の範囲
-  骨格となる道路景観軸
-  主要な歩行者景観軸（散策路）
-  水辺景観軸
-  並木
-  主要な視点場・結節点



視点場としての整備、演出を図ります

特別史跡への導入部として、集落景観の誘導も含め景観的な演出を図ります

樹木の適正管理、土砂採取等の規制により、緑豊かな自然景観を保全します

遺跡周辺を周遊する登山道の整備、視点場としての演出を図ります

特別史跡への導入部として景観的な演出を図ります

水と緑と歴史を活かした身近な散策コースの整備を図ります

谷筋に形成された田園景観を保全します

地域固有の伝統が息づく集落景観を保全します

広葉樹種への転換などにより、四季が感じられる自然景観を演出します

自然本来の景観との調和を図るため、施設の形態意匠や色彩に配慮します

郷土の景観に配慮した護岸整備を行います

長期的な原生植生への再生を見据え、里山の整備を行います

